WORDS-Worth

新開発と保存のあり方について

表参道ヒルズ発

山形浩生

表参道ヒルズがオープンした。大きいといえば大きいけれど、地域の都市構造をがらりと変えるほどのものじゃない。ただここには、おもしろい特徴を持っている。それはここが、古い建築保存という課題を持っていたことだ。ご記憶の方もいるだろうが、この場にはかつて、まったく場違いな小汚いボロアパート群が建っていた。それをどう活かすか／活かさないかが、この開発の一つの注目点だった。そしてそれは、今後の日本の都市開発の方向性にも多少は関連する話でもある。

というと、歴史的な建築は保存しましょう、スクラップ&ビルドはやしからん、というような話をするんだろうと思うのが人情だと思う。だって世の中の歴史的建築保存を口走る連中は、そんなやつらばかりだったからだ。だが、ぼくはそういう物言いを聞いて居心地の悪い思いをしてきた。単に古いからというだけで保存しろという点に一切耳を貸す必要はない。金を払っても維持すべき現代的価値を示せなければ、そんなものは壊しても一向にかまわないのだ。特に最近は歴史的建築物を改修してオフィスやショップを入れるケースが増えているが、それは強く疑問を感じる。

さて表参道ヒルズにあった小汚いアパートは、皮肉なことに、ある意味では歴史的建築物だった。

だったか示す以上の機能はない。そしてそれにくっついて、巨大なベターとしたガラスの箱がどーんと敷地一杯ぎりぎりまで迫ってくるのに（悪い意味で）圧倒される。通りをはさんだ向かいには、青木淳やら伊東豊雄やらの特徴的な建築が並ぶけれど、こうした安易らしさというものも特に感じられない。てっぺんに乗ったコンクリート住宅部分は言われてみればなんとなくそれっぽいともいえるが、むしろ下のガラス箱と完全に切り離され、単に場違いなだけ。

建築家は青山のスノビッシュな設計で、ここが建物のためにアクセサリーとして設計したものだ、というのは明らかだ。うーん。いや、こんなものになるんなら、変な保存とかいう縛りをかけずに、もう少し自由に設計してもらったほうがよかったんじゃないかな、という気さえする。並木と環状、なんていうお題目のせいで、穴蔵建てでかい箱をべったり貼り付けるしかなくなったんだし。

保存というのがお題目にしかなっていないな、と思う。そしてそれは、伝統や文化や古い建築をないがしろにする悪しき商業主義のせいじゃない。むしろ、変な保存意識が裏目に出たせいじゃないか、と思うのだ。何を残すべきかさちんと分析できない、とにかく何でも古けりゃ残せという「衛民」的発想が、逆にメリハリのなさにつながり、変な原理固めいたルート群は、関東大震災の罹災者向け住宅供給をしていた同潤会によるもので、かれらは先進的な集合住宅の提案をいろいろしている。でも表参道にあったやつは、建物自体には保存すべき価値はまったくなかったと思う。ただの敷設型アパートだもん。町並みとの調和が、なんて目のないことを言う連中は多いけれど、むしろあのアパートは場違いであったのがおもしろかったんだとぼくは思う。あんな汚いボロアパートが、目抜き通りに平然と存在している意外性が楽しかっただけだ。それは保存してもしようがないし、保存しようがないものだった。

むしろ保存すべきは、もとの設計者が八〇年前に、西洋長屋という窓口をかわすべく設けた配慮だ。それは建物を少し下げて敷地に緑地を入れ、道と隔離する設計、そしてもう一つは、単調なアパートが作っていた町並みのリズム、そのくらいだったというのがぼくの印象だ。

さて表参道ヒルズでは、設計を担当した安藤忠雄がそれをどう料理するか、というのが一つの楽しみだったんだが……これがずいぶんと外している。

まず、同潤会アパートそのものを再現した部分がいちばん表参道寄りにあるけど、もとの建物がいかにつまんない建物保存のお題目を生んでいる。しきにそういうお題目は安藤に拒否されるだろう、ただそれがよい住うに転用可能性もある。さっき、もとの同潤会アパートは場違いだった、と述べた。この表参道ヒルズも、そのやたらに長い一枚のファサードはかなり場違いな感じではある。ここは保存のお題目とはまったく関係なく、商業施設としては成功しそうだ。いつか——いまからン〇年ぐらいすると、ひょっとしたらその場違い感だけがかつてのアパート群の記憶を伝えるものとなるかもしれないとは思う。その頃になったら、ここにあった同潤会アパートでお当に残したかったものは何なのか、いま開発な保存を叫んでいるんたちも見えるようになるんじゃないか。懐古趣味、守旧趣味に陥らない、ダイナミックでありながら歴史性を持つ保存のあり方って何なのか？

もう現状の建築物は、かなりいかがわしいものだし、ぬ後の日本の都市のためにも、そういうことを少し考える必要があるんじゃないか。

※色指定はデータに準ずる

の表側
や街並み
果てしなく続く
のっぺりしたファサードは、他の街並みとまったく異質だ。
街並み
ただ……一つだけほめるなら、ここの裏通りはいい。
狭い道をはさんだ建築が不思議に調和して、コンクリートうちっぱなしの安藤ふしさも
全開。こっちには街並み感があるのだ。
同主
これを前面にも活かせなかったものか、というのは
ないものねだりか。